

女性活躍応援ファンド（愛称:椿） 設定後の運用状況について

2015年4月13日

平素は、「女性活躍応援ファンド（愛称:椿）」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。
設定後の運用状況についてお知らせいたします。なお、基準日（2015年4月9日）現在、ポートフォリオの組入比率は約95.5%となっております。

《基準価額・純資産の推移》

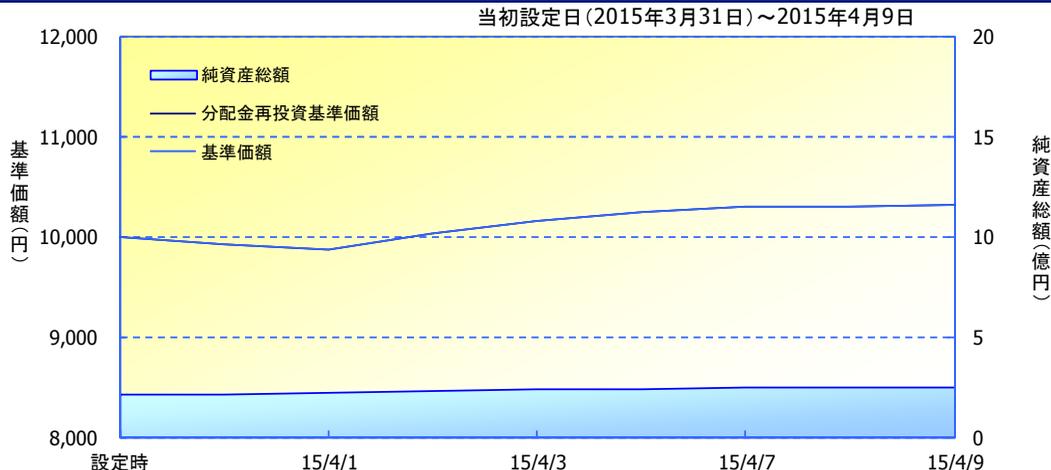
※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

2015年4月9日現在

基準価額	10,320 円
純資産総額	253百万円

期間別騰落率

期間	ファンド
1か月間	----
3か月間	----
6か月間	----
設定来	+3.2 %



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。

※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った当日とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。

※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

《主要な資産の状況》

※比率は、純資産総額に対するものです。

資産別構成			株式 業種別構成	
資産	銘柄数	比率	東証33業種名	比率
国内株式	100	95.5%	サービス業	19.2%
国内株式先物	---	---	化学	15.0%
コール・ローン、その他		4.5%	小売業	13.6%
合計	100	100.0%	電気機器	6.4%
株式 市場・上場別構成			その他製品	4.6%
合計95.5%			銀行業	3.8%
一部（東証・名証）		78.9%	情報・通信業	3.5%
二部（東証・名証）		4.4%	医薬品	3.3%
新興市場他		12.2%	輸送用機器	3.1%
その他		---	その他	23.0%

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡す「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります）に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212（営業日の9:00～17:00）HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

組入上位10銘柄		合計23.4%
銘柄名	東証33業種名	比率
ピジョン	その他製品	2.9%
花王	化学	2.7%
オリエンタルランド	サービス業	2.6%
クックパッド	サービス業	2.4%
三菱UFJフィナンシャルG	銀行業	2.4%
ノジマ	小売業	2.3%
N・フィールド	サービス業	2.2%
プリチストン	ゴム製品	2.2%
ファンケル	化学	2.0%
ディップ	サービス業	1.9%

※比率は、純資産総額に対するものです。

《ファンドマネージャーのコメント》

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

【市場動向】

▶国内株式市場は堅調に推移

国内株式市場は、当ファンドの設定日以降、堅調に推移しました。

米国経済の回復を背景とした円安、日銀や公的年金による日本株買い増し期待、賃上げ浸透による国内消費回復期待、円安と原油安による企業業績への期待、コーポレートガバナンス強化などにより年初から上昇基調が続いています。

【ファンドの運用状況】

▶設定来騰落率：+3.2%

ファンド設定日（2015年3月31日）から2015年4月9日までのファンド騰落率は、保有銘柄の価格上昇が主なプラス要因となって+3.2%となりました。

▶運用のポイント

ファンドの運用にあたっては、マザーファンドを通じてポートフォリオを構築いたしました。4月9日現在、国内株式の組入比率は95.5%、組入銘柄数は100銘柄です。

業種では、女性の活躍や賃上げによる国内消費の回復期待から小売業、サービス業をオーバーウェイトにしました。

【今後の展望・運用方針】

▶今後の展望

国内株式市場は、1月中旬から上昇基調が続いたため、短期的には利益確定売りに押される可能性があるほか、4月下旬から本格化する決算発表において企業が慎重な2015年度業績見通しを発表する可能性、米国の利上げ時期をめぐる思惑、市場予想を下回る米国経済指標の発表などが波乱要因となる可能性もあります。しかし、国内経済指標の改善傾向、企業の株主還元や資本の効率的活用に対する意識の高まり、日銀や公的年金による日本株買い増し期待などから、中期的な株価上昇トレンドは継続すると想定しています。

▶運用方針

ポートフォリオに関しては、賃上げによる国内消費の回復、中長期的な円安、原油安、金融緩和、インフレ、公共投資の増加などから恩恵を受けられる業種に注目します。銘柄選定においては、女性の活躍に着目して、財務基盤、経営効率など複数の観点から、個々の企業を調査・分析し、定量面では、中期的な利益成長率や、PBR（株価純資産倍率）、PER（株価収益率）、ROE（自己資本利益率）などのバリュエーション指標を重視し投資していく方針です。

【組入上位10銘柄の紹介】

(1) ピジョン

育児用品で国内トップ。保育園の運営や介護事業など事業の多角化を進めている。海外展開も進めており、長期的な成長が期待される。

(2) 花王

トイレタリー国内首位、化粧品大手。女性のキャリア促進や仕事と家庭の両立支援が評価され、平成26年度なでしこ銘柄に選定される。

(3) オリエンタルランド

東京ディズニーランド・シーを運営。入園者の半数以上を女性が占める。

(4) クックパッド

料理レシピ専門サイト「クックパッド」を運営。利用者の8割以上を女性が占める。プレミアム会員数は今後も増加が見込まれる。英語やスペイン語圏にも進出しており世界No.1のレシピサービスを目指す。

(5) 三菱UFJフィナンシャル・グループ

国内最大の金融グループ。女性の活躍推進や働きやすい職場作りに積極的に取り組んでいることが評価され、平成25年度なでしこ銘柄に選定される。

(6) ノジマ

家電量販中堅。女性が消費にお金をかけたい分野の一つに家電が挙げられ、女性の社会進出により間接的にメリット。2015年度は、消費増税後の反動減からの回復と買収効果により増益が期待される。

(7) N・フィールド

精神疾患の患者に特化した訪問看護事業を展開。事業上、夜勤がない訪問看護であり、地域密着型の事業展開も、女性にとって働きやすい環境となっている。同社では結婚・出産などで退職した元看護師を積極的に採用している。

(8) ブリヂストン

タイヤで世界首位。女性のキャリア促進や仕事と家庭の両立支援が評価され、平成26年度なでしこ銘柄に選定される。

(9) ファンケル

無添加化粧品メーカー。訪日外国人の増加による需要増や、広告・販促の積極化により今後の化粧品事業の拡大が期待される。

(10) ディップ

ネットのアルバイトサイト「バイトル」を運営。AKB48をTVCMに採用した。

以上

女性活躍応援ファンド（愛称：椿）

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

わが国の株式の中から、女性の活躍により成長することが期待される企業に投資し、信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

1. 「女性の活躍」に着目して投資候補銘柄を選定します。



2. 徹底したリサーチにより投資魅力の高い銘柄を選定し、ポートフォリオを構築します。
 - 投資候補銘柄の中から、徹底したボトムアップ・アプローチを重視した個別企業の分析および投資環境の分析を行ない、投資魅力の高い銘柄を選定します。
 - 個別銘柄の流動性、株価水準等を考慮し、ポートフォリオを構築します。
 - 投資候補銘柄およびポートフォリオの組入銘柄については、適宜見直しを行ないます。
 3. 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。
 - マザーファンドは「女性活躍応援マザーファンド」です。
- ※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の変動要因は、以下のとおりです。

「株価の変動（価格変動リスク、信用リスク）」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

女性活躍応援ファンド（愛称：椿）

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 <上限>2.16%(税抜2.0%)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.566% (税抜 1.45%)	運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問い合わせ下さい。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

設定・運用：

大和投資信託

Daiwa Asset Management

商号等 大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

女性活躍応援ファンド（愛称：椿） 取扱い販売会社

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
株式会社伊予銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第2号	○	○		
株式会社東北銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第8号	○			
株式会社北都銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第10号	○			
いよぎん証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長(金商)第21号	○			

上記の販売会社については今後変更となる場合があります。また、新規のご購入の取り扱いを行っていない場合がありますので、各販売会社にご確認ください。